



国民春闘共闘

2024年度 第15号
2024年4月1日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

24 国民春闘共闘賃上げ第3回集計

上積み回答続々と！ 単純平均 7,904円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は3月28日、第3回目の24春闘賃上げ集計を行いました。

<回答状況>

	2024年	2023年同期
回答引き出し組合	670	612
うち 有額回答	406(60.6%)	379(61.9%)
うち「定昇確保」など言葉による回答	264(39.4%)	233(38.1%)
うち 2次回答以上の回答	65(9.7%)	49(8.0%)
うち 妥結組合	136(20.3%)	104(17.0%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象		2024年要求	2024年回答	2023年同期	同期比
単純平均	額(円)	30,007	7,904	6,287	+1,617
	率(%)	10.06	2.87	2.34	+0.53
加重平均	額(円)		7,638	5,916	+1,722
	率(%)		2.58	2.06	+0.52
	組合員数		37,524	45,786	

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	前年実績以上	前年実績超	24年回答	23年実績	実績比
単純平均	額(円)	345	232(67.2%)	199(57.7%)	7,982	6,967	+1,015
	率(%)	229	137(59.8%)	125(54.6%)	2.89	2.57	+0.32

<非正規の仲間の回答状況>

		時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	額(円)	42.5 (31.5)	5,061 (4,538)	40.2 (37.1)	6,091 (4,688)
	率(%)	4.17 (2.93)	3.52 (2.61)	4.17 (2.93)	3.26 (2.54)

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。
※言葉による回答は平均などの計算から除いています。
※非正規の仲間の回答状況のカッコ()内は前年度最終集計の結果

<集計結果の概要>

回答引き出し・妥結状況

3月28日の第3回目24春闘賃上げ集計には、21単産・部会から報告が寄せられ670組合が回答を引き出しています。前回調査（3月21日時点：563組合）から107組合増えています。

そのうち60.6%にあたる406組合が、金額もしくは率が明らかになっている有額回答を得ています。前回調査322組合（57.2%）から84組合・3.4割増え、前年同期（2023年3月23日現在）の61.9%からは1.3割下回っています。

現時点で回答引出し組合の20.3%となる136組合が妥結・收拾方向となっています。前年同期比（104組合・17%）では、3.3割増となっており、上積み回答を引き出している組合を中心に妥結・收拾方向の組合も出ていますが、8割の組合がたたかいを継続しており、粘り強い交渉が続いていることが伺える状況となっています。

回答内容

有額回答を得た組合での単純平均（一組合あたりの平均）は7,904円・2.87%となりました。額で1999年以来25年ぶり、率で1998年以来26年ぶりの高い水準を維持しています。前回調査（3月21日：7,787円・2.82%）から117円・0.05割増え、前年同期（2023年3月23日：6,287円・2.34%）を1,617円・0.53割上回っています。

加重平均（組合員一人あたりの平均）は7,638円・2.58%で、前回調査（7,231円・2.47%）から407円・0.11割増加しています。前年同期比（5,916円・2.06%）では、1,722円・0.52割上回っています。

前年実績と金額で比較可能な345組合の単純平均額を見ると、今期は7,982円で前年実績6,967円を1,015円上回っています。引上げ率では、229組合の単純平均で2.89%と前年実績比0.32割増となっています。前年実績を超える回答を引き出した組合は額で199組合（57.7%）、引き上げ率では125組合（54.6%）となりました。前回調査時点（金額：155組合・54%、引き上げ率：104組合・53.6%）から額で44組合・3.7割、引き上げ率で21組合・1割増えました。

JMITUの組合で6,000円の上積みで14,700円、化学一般労連の組合で上積み5,000円で20,000円、生協労連の組合で7,789円の上積みで11,640円の回答を引き出すなど、初回回答からの上積みを獲得した組合は、前回調査（41組合）から24組合増え、65組合となりました。前年同期（49組合・8%）を16組合・1.7割上回っています。

建交労・運輸での3組合をはじめ、JMITU、化学一般労連、出版労連（各2組合）、建交労・鉄道、建交労・社会福祉、建交労・サービス（各1組合）の計12組合が2万円以上（前回調査6組合、前年同期3組合）の回答を引き出すなど、全体で107組合が5桁回答を勝ちとっています（前回調査81組合、前年同期61組合）。

前回調査に引き続き、JMITU、化学一般労連といった製造業関係や民放労連、出版労連などが高水準を維持しているほか、建交労・運輸、建交労・鉄道、JMITU通信、全倉運などの運輸・通信業、生協労連（卸売・小売）でも高い水準となっています。しかしながら、同じ産業や企業規模の中でも回答水準にバラツキが見られます。

4・10最低賃金ビッグアクションに合わせてJMITUや生協労連がストライキを提起し、日本医労連は4月18日に第2波統一行動としてストライキを構えるなど、粘り強い交渉が続け

られており、春闘後半戦での追い上げが期待されます。

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況

非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況は、別表の 8 単産 129 組合から 318 件の獲得報告が寄せられました、

このうち時給制労働者では 197 件の獲得報告が寄せられ、引き上げ額が判明している 164 件の平均額は 42.5 円となりました。前回調査 43.5 円から 1 円下がりましたが、前年実績 31.5 円を 11 円上回っています。引上げ率では 25 件平均 4.17%です。前年実績比較可能な組合で見ると金額では 125 件平均で今期は 41.8 円と前年実績比+11.6 円、引き上げ率では 16 件平均 4.12%で前年実績比+1.68 ㊦となっています。日本医労連では 10 組合が 100 円以上の引上げを勝ち取るなど平均 81.3 円（27 件）と全体を牽引しています。全体では 16 組合が月額換算（月 150 時間換算）で 5 桁の回答を引き出しています。

月給制労働者では 56 件の獲得となっています。引上げ額は 53 件平均 5,061 円で、前回調査 4,651 円から 410 円増となり、前年実績 4,538 円を 523 円上回りました。引上げ率では 13 件平均 3.52%となっています。生協労連の組合で 12,742 円、民放労連の組合で 10,000 円、出版労連の組合で 9,000 円といった回答も勝ち取っています。

再雇用者の賃上げ状況は、時給制で 33 件、月給制で 31 件の獲得となっています。時給制では平均 40.2 円（33 件）・4.17%（9 件）、月給制では平均 6,091 円（29 件平均）・3.26%（10 件平均）となりました。生協労連の組合では時給制再雇用者の月額換算 25,500 円相当（月 150 時間換算）となる時間額 170 円を引き出しています。

企業内最低賃金協定の改定状況

企業内最低賃金協定の獲得状況は、別表の 8 単産 54 組合から 99 件の獲得報告が寄せられています。

時間額では 50 件の獲得で、新協定の単純平均額は 1,093 円（43 件）となっています。引上げ額は報告のあった 28 件平均で 50.7 円です。化学一般労連では 7 件平均 98 円・10.09%の引上げとなっています。

日額では 15 件の獲得となり、新協定は 10 件平均 8,988 円、引き上げ額・率は 8 件平均で 415 円・6.05%です。

月額では 24 件の獲得で、新協定額は 18 件平均 183,083 円、引き上げ額・率は 7,222 円・5.15%（9 件）となりました。出版労連では月額 227,730 円・日額 10,844 円・時間額 1,549 円の協定を結んだ組合をはじめ、計 3 組合が月額 20 万円超の最低賃金協定を締結しています。

職種別では、日本医労連から看護師とヘルパー、生協労連からヘルパーの獲得報告が寄せられています。看護師では前回調査と変わらず単純平均で時間額 1,223 円、日額 8,274 円、月額 207,300 円となっています。